

コミュニティビジネス型NPOの先駆けである「シニアSOHO普及サロン・三鷹」は、シニアの「居場所」と「出番」を創り、提供し続け今年で17年目に入った。多岐にわたる事業を展開中だが、中でも最大の事業となるのが小学校安全推進員事業の「スクールエンジェルス」だ。そのプロジェクトリーダーとして活躍している峯山昇さん(71)「顔写真」に話を聞いた。

## 〈NPO編〉シニアSOHO三鷹②



ちよūdō

■培ってきた経験・技術を地域に生かす  
東京都三鷹市にある通信機メーカーで、長年コンピュータのエンジニアをしていた峯山さんは、58歳の時に早期退職した。現役時代から退職後の第二の人生を考えるにあたり、会社以外の外部ネットワークの重要性を意識して情報収集に努めていたという。

その頃、「シニア普及サロン・三鷹が任意団体として発足し、峯山さんもその活動内容に興味を持っていったところ、当時の初代代表からスカウトされる形で入会することになった。

# 子供たちと交流で活性化

## 一生働く!

オレンジ世代の「生きがい」探し



活動中の「スクールエンジェルス」メンバー

「シニアSOHOも立ち上げ直後で、パソコン教室事業が中心でしたから、パソコンのインストラクターが必要だったんです。私は退職前の10年間は研修センターで教えていましたか

ら、ちよūdō良かった。まさに「渡りに船」のようだったかもしれませぬ」と峯山さんは振り返る。  
多様な経験を持つ会員で構成された同団体は、2000年にNPO法人となり、事業内容も幅広い分野を扱うようになっていった。

■地域の課題を解決  
その後、同NPOは市内の小中学校の保護者向け情報発信プロジェクトのヘルプデスクなどにも活動の場を広げる。  
その際、人材をまとめてゆく能力が学校側に認められ、当時、児童が犯罪に巻き込まれる悲惨な事件が後を絶たず地域における児童の安全確保が喫緊の課題となっていたことから、同NPOが子供見守りサービス

「スクールエンジェルス」をスタートさせることになった。  
06年から始まった同事業は、「地域の子供は地域で守る」をモットーに、今年で10年目を迎える。市内15の小中学校を対象に学校周辺に在任している会員メンバーで構成され、学校の敷地内の見守りを中心に、各校に6~12人配置、午前と午後の2交代制をとっている。  
メンバーの平均年齢は67歳、各校にリーダーがおり、プロジェクトリーダーの峯山さんが統括する役目を担っている。現在、120人の登録メンバーがいる。

「とにかくやることがあるのは良いことです。子供たちとの付き合いもおもしろい。われわれにとっても活性化になりますしね」(峯山さん)

自身も会員歴17年のベテランとなっている峯山さん。担当する事業については、「現状に甘んじることなく、常により良いサービスを今後も提供できるようにチャレンジしていきたい。さらに、プロジェクト全体の若返りや後継者育成などにも力を注いでいきたい」と展望を熱心に語ってくれた。  
(「オレンジ世代」取材班)